

2006.1.25

(社)電子情報技術産業協会

資料差し替えの件

2005年12月21日開催の「衛星放送の将来像に関する研究会」の第四回会合で公開資料として説明提出いたしました「TS数と製造時期・台数」に関する資料において、16TS受信機の状態についても種々ご意見を戴きましたので、追加的に詳細検討を行いました結果、研究会の検討が適切に行われることに資するためには、下記理由により、提出資料の変更を行う必要がございました。お手数をおかけ致しますが、資料の差し替えを頂きたく、よろしくお願いたします。

記

1. 16TS受信機については、同じ16TSであっても設計タイプに以下の2種類の仕様が存在する。16TS対応受信機について、Aタイプ、Bタイプに区分した。

・Aタイプ(資料に16A TSと表記)

・BS/CS対応受信機

・16TSを超えた場合に破綻する(既存放送サービスが受信できなくなる)

・Bタイプ(資料に16B TSと表記)

・3波共用受信機

・16TSを超えても破綻はしないが、16TSを超えた放送サービスを受信できない。(NITに記載されたTS_IDの最初の16TSを受信)

2. 16TS受信機総数の中に、32TSで設計されていた一部機種が間違っ集計されていた。次の台数を16TSから32TSに集計を修正。

2000年：6,000台、2001年：17,000台、2002年：20,000台、

2003年：15,000台、2004年：8,000台

[追記] Aタイプについては、ソフトウェア変更により、Bタイプに変更する事は技術的に可能

以上

質問：現行受信機の許容できる「TS数 および その台数、製造時期」をお知らせください。
 複数のTS数が存在する時には、全ての場合を教えてください。

	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	TOTAL
12 TS	100,000	30,000	0	0	0	0	130,000
16A TS	0	5,600	36,400	13,200	1,300	0	56,500
16B TS	0	0	0	5,000	32,000	86,000	123,000
25 TS	0	0	0	0	0	10,000	10,000
32 TS	146,231	290,896	396,300	604,500	1,782,600	1,464,000	4,684,527
50 TS	80,000	80,000	20,000	5,000	0	0	185,000
64 TS	0	0	26,773	107,374	70,805	297,662	502,614
96 TS	45,700	116,900	161,800	179,830	240,810	248,830	993,870
300 TS	0	0	80,000	110,000	110,000	250,000	550,000

